



▲子どもたちに食育の授業をする梅村先生

命の大切さを考えてみよう！

私たちの体を作る、毎日の食事。当たり前のように食べている食事を見つめ直すと、食を支えるさまざまな人への感謝が見えてきます。市では食への感謝を忘れないよう、子どもたちへ食育に関する授業に取り組んでいます。

「食」を見つめ直す

駒羽根小学校5年生／食育に関する特別学習

授業を受けてどう思った？

朝食の大切さと、食べることは「命」をいただくことということが分かりました



菅原ゆりさん

「いただきます」は動物の命や人の手間への感謝の言葉ということを学びました



永塚大翔さん

食事の前には食べ物に関わる人に感謝して「いただきます」を言いたいです



中尾莉音さん

保護者の声

「食べることは一人ではできない」 食を支える人への感謝を考える貴重な機会



松本和美さん(駒羽根)

食育に関してはとても興味があり、独学で勉強していました。食べ物の背景には、野菜や肉などの生産者や調理する人がいるからこそ、健康的な食事ができているということを子どもたちに教えてきました。

学校でも、地元農家の人たちが旬の野菜を届けてくれたり、授業で「食べることの大切さ」

を教えてもらえたりしていると聞いています。

家で私が伝えていることを学校で経験し、友達と話したり考えたりすることは、理解を深めるいい機会につながっていると思います。「食を支える全ての人に感謝すること」をこれからも教えていってもらいたいですね。

